

【日本留学レポート】

日本での外国人の生活

My Quick Half a Year in Japan

山口大学元交換留学生 ジーギマンタス・マチュルスカス

Zygimantas Maciulskas

(Ex-exchange student, Yamaguchi University)

キーワード：日本留学、山口大学、リトアニア

私の母国はリトアニアです。リトアニアはとても小さい国で、人口は3百万人程です。そして、この国には日本人がほとんどいません。

そんな私が日本に興味を持った理由は、まず言葉と歴史に興味があったからです。また、私が日本語や日本について勉強を始めたころ、アジアに関連した仕事の需要が高まっていたことも理由でした。江戸時代の侍が出てくるような映画に惹かれ、日本の文化をより学びたいと思うようになっていきました。

日本に来る前には、日本人は本当に変わっていると思っていました。日本人にとって最も大切なことは、就職をして会社員になることだと思っていました。また、日本の都市はとても大きくて、人も多いからです、森があまりないだろうと思っていました。日本人の暮らし振りや日本の環境、日本にまつわる全部は、すべて灰色だと思っていました。しかし、私が間違っていました。

私が日本に住んだのは留学期間のたった半年間です。山口大学に留学し、日本語を勉強するためです。日本に着き、飛行機から降りたとき、本当に蒸し暑かったことを覚えています。私は一人で、かつ自分の日本語はまだ下手だったから、空港からドミトリーまでの旅路はちょっと難しかったです。電車の切符を買うことや乗り換えの仕方を知りませんでしたから、日本人に尋ねました。外国人が日本語で日本人に質問したから、彼らは驚いていました。キャンパスでも誰も知り合いがいなかったの、最初の日は厳しかったです。初日に2人の友人と出会いました。彼らは、アパートをきれいに

するのを手伝ってくれました。彼らのうちの一人は、私を店へ連れて行って、私が掃除製品を買うのを手伝ってくれました。私は100円の店で安く物を買うことができず知らなかったのも、他のコンビニで大枚をはたきました。そして、リトアニアより日本のほうが食べ物の値段がかなり高いことを知りました。リトアニアで1キログラムのジャガイモが40セント（～45円）であるのに比べて、日本では、1個のジャガイモが33～64円です。そして、我々リトアニア人は、ジャガイモを使った料理を食べるのが大好きです。たとえば、ツェペリナイ (CEPELINAI)、ヴェーダライ (VEDARAI) とジャガイモ・パンケーキ。ジャガイモを使った食事を毎日食べるができなかったから、私は1袋10キログラムの米を買って、チキンと食べました。チキンが日本で最も安い肉だったからです。正直なところ、日本で暮らす間、私はあまりたくさんジャガイモを食べることができませんでした。他の製品（服と日用品のような）については、リトアニアとほとんど同じ価格でした。

交通費について話すと、日本の公共交通機関は、リトアニアと比較して、非常に高価です。日本での交通費は、リトアニアの4倍程で、とても高価でした。私は、食費よりも、交通費について一番出費したように思います。旅行をするためには、私は仕事を見つけなければなりません。それで、私は留学生のための学生アドバイザーにパートタイムの仕事について尋ねました。アドバイザーは私に2つ電話番号を伝え、連絡するように教えてくれました。しかし、当初はSIMカードを持っていなかったため、私は彼らに電話をすることができませんでした。私は私立の英会話学校の先生として、アルバイトをようやく得ましたが、先生としてこれまで働いたことがなかったため、それは難しかったです。最も難しかったのは、子供たちへの指導でした。私が外国人だったので、または、私の日本語が十分でなかったため、私の話がわからなかったのだと思います。最終的には、私は彼らが英語で単純な会話をできるようにすることができました。彼らが一部の英語をすでに知っていたこともあって、ティーンエイジャーや大人に教えるより簡単でした。仕事は大変でしたが、やり甲斐がありました。

私は、ようやく若干のお金をかせいで、旅行することができました。大阪、京都、奈良、東京と多くの他の都市に行きました。韓国にまで旅行しました。天気がちょうどよかったため、これまでにしたなかで最高の旅行でした。東京を除くと、私は奈良が最も好きでした。街並みはとても美しく、そして、どこに行っても多くの古い寺院で鹿の群れを見ました。鹿は、とても可愛かったです。私が彼らのうちの1匹にいくらかの鹿ビスケットを与えたため、彼らは至る所で私の後を追ってきました。奈良では、東大寺（世界最大の木造寺院）に行きました。こんなに大きいと聞いていなかったため、大変驚きました。また、私は幸運のために大仏をこすりました。その日の晩はお盆で、奈良県新公会堂に、私は行きました。1万の以上のランタンがあったと思います。

私は、日本を旅行するとき、常に地元のレストランとバーを探していました。最も美味しい飲物は梅酒でした、そして、焼酎が私にウォッカを思い出させたので、焼酎は好きではありませんでした。私はウォッカが嫌いですから。食物に関しては、最もおいしいものは、醤油 ラーメンとお好み焼きでした。私は一生、ラーメンを朝食、昼食と夕食に食べることができると思います。しかし、私はうどんは好きではありませんでした。

私の日本滞在の間に、日本人だけでなく、新しい友人に出会うことができました。彼らは、常に私をパーティーに招待してくれました。私は、日本の学生たちが日中、あまりお酒を飲まないことに非常に驚きました。しかし、私は勘違いしていました。パーティーは、夜、居酒屋とカラオケで開催されていました。驚くべきことに、日本人は非常に酔いやすいのに、頻繁に飲み会を開きます。私は、友人とカラオケへ行くのが本当に好きでした。たとえ喉が居酒屋の後ですでに痛かったとしても、我々はまだ歌って、笑いました。私が勉強する他にした活動の一つは、柔道部に行っていました。私はその部活のただ一人の外国人であったので、皆は驚いて、幸せでした。本当に楽しかった。それでも、たとえ友達たちが私と一緒にどこでも行ったとしても、しかし、私のガールフレンドがいなかったことだけは寂しかったです。

日本での留学生活は半年と短い間でしたが、この経験は私に日本についての多くの新しい知識を与えてくれました。また、私の日本語は、非常によくなりました。留学が終わる頃には、日本語で会話し、理解できるようになっていました。週に6回の日本語のレッスンと、柔道部でのクラブ活動がたいへん助けになったと思います。また日本に戻り、流暢に日本語を話すことができる日を楽しみにしています。日本に住んだ経験は、大幅に私の世界を広げてくれました。



奈良 東大寺



東京 新宿